【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成25年10月17日(2013.10.17)

【公表番号】特表2013-504133(P2013-504133A)
【公表日】平成25年2月4日(2013.2.4)
【年通号数】公開・登録公報2013-006
【出願番号】特願2012-528092(P2012-528092)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　19/00　　(2011.01)
Ｇ０６Ｆ　17/18　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　19/00　　１２０
Ｇ０６Ｆ　17/18　　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成25年8月29日(2013.8.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
非線形、線形パラメータ変動、及び時変モデルを同定するシステムであって、
線形部分空間アルゴリズムを含み、該線形部分空間アルゴリズムは、第１の出力信号と第１の入力信号の少なくとも一方を入力し、前記第１の出力信号及び前記第１の入力信号は、該第１の入力信号とスケジューリング関数の間のクロネッカー積、状態関数と前記スケジューリング関数の間のクロネッカー積、及び実質的に同等な信号のうちの少なくとも１つと併用される、前記線形部分空間アルゴリズムの第２の出力信号及び拡張入力信号の少なくとも一方を含む、システム。
【請求項２】
パラメータ推定値及び状態推定値を精緻化する前記線形部分空間アルゴリズムの少なくとも１回の反復をさらに含む、請求項１に記載のシステム。
【請求項３】
１回の反復の収束を判定する尤度関数の評価をさらに含む、請求項２に記載のシステム。
【請求項４】
最適な状態次数を、尤度計算及びＡＩＣ計算の少なくとも一方を用いて最適な状態次数を選択する、請求項１に記載のシステム。
【請求項５】
前記システムにおける少なくとも一つの故障あるいは変化を判定する尤度比テストをさらに含む、請求項１に記載のシステム。
【請求項６】
初期化時に、状態関数と、スケジューリング関数と状態関数の間のクロネッカー積との少なくとも一方が存在しない、請求項１に記載のシステム。
【請求項７】
不安定な計算をもたらすデータ利用時における、該データを無視する異常値打ち切りをさらに含む、請求項２に記載のシステム。
【請求項８】

ＡＲＸモデル化計算の監視により前記異常値打ち切りを実現する、請求項７に記載のシステム。
【請求項９】
計算を安定化させる実験計画の利用をさらに含む、請求項１に記載のシステム。
【請求項１０】
非線形、時変、及びパラメータ変動処理を支配する方程式のセットを推定するシステムであって、
第１の入力と、
第２の入力と、
フィードバックボックスと、
時間遅延ボックスと、
を備え、
前記第１の入力及び前記第２の入力は、前記フィードバックボックスを通って前記時間遅延ボックスに至り、出力を生成するシステム。
【請求項１１】
前記システムは、連続する出力からの変動が所定の閾値に達するまで反復する、請求項１０に記載のシステム。
【請求項１２】
前記システムの出力は、前記システムの反復の間、前記第１の入力及び前記第２の入力のうち少なくとも一方として用いられる、請求項１１に記載のシステム。
【請求項１３】
前記時間遅延ボックスは、所定のサンプル持続時間である、請求項１１に記載のシステム。
【請求項１４】
前記時間遅延ボックスは、複数の線形時不変係数の少なくとも１つを有する、請求項１３に記載のシステム。
【請求項１５】
前記フィードバックボックスは、複数の基底関数、複数のスケジューリング関数、及び複数の状態関数のそれぞれのクロネッカー積のうち少なくとも１つを有する、請求項１１に記載のシステム。
【請求項１６】
前記第１の入力は、複数のスケジューリングパラメータのうちの少なくとも１つである、請求項１１に記載のシステム。
【請求項１７】
第２の入力は、複数の基底関数のうちの少なくとも１つである、請求項１１に記載のシステム。